

三陸復興国立公園指定!

種差(たねさし)海岸

5月24日、ゴツゴツとした岩や白い砂浜など変化に富んだ風景の「種差海岸」が三陸復興国立公園に指定されました。八戸市鮫町の蕪島から、宮城県までの広大な地域が一つの国立公園だなんて、スゴイですよ。

地元ではJR種差海岸駅の目の前に広がる天然芝の浜辺が『種差』と呼ばれ市民に親しまれています。夏になると緑の芝と青い海のコントラストがとても美しく、涼を求める人々がたくさん訪れます。私も、この天然芝で昼寝や散歩するのが大好きです。

近年では、乗馬体験や、種差から葦毛崎展望台まで延びる遊歩道を利用したウォーキングなどのイベントも行われていて、国立公園化されたことで更に注目を集めそうです。(田名部)



鮫角灯台 (きめかどとうだい)

漁業が盛んな八戸市鮫町に、八戸港のシンボル「鮫角灯台」があります。

全国から集まる船を港に安全に導くため、1938年(昭和13年)に設置されました。

突風が吹きすさぶ崖の上ではなく、太平洋を見渡せる風光明媚な丘に建っています。

近くには牧場があり、草原の中の緑に包まれた真っ白い灯台は、訪れた人の心に刻まれ、その景観の美しさから日本の灯台50選にも選ばれました。

海面からの高さは57.6mと高く、眺望を楽しむには絶好の場所です。

遠くに見える水平線や、牧場の中を颯爽と走るサラブレッド、JR八戸線のレトロな電車、様々な景色が目飛び込んできて、時間がたつのも忘れるほど見入ってしまいます。

先月、種差海岸が三陸復興国立公園に指定されことから、年に一度だった一般開放が、10月末までの毎週土・日・祝日(午前9時~午後4時)に増えました。

この夏は、是非、八戸市へ!!

雄大な自然の中で、鮫角灯台ならではの大自然の感動を味わってみませんか。(村木)

青森ほたて

下北半島と津軽半島・二つの自然な「防波堤」に囲まれる陸奥湾。八甲田山系からミネラルたっぷりの雪解け水が流れ込み、湾特有の穏やかな海況と北国の冷涼な気候がホタテの生育にぴったりの場所になっています。

山と海の恵みいっぱいの環境で育ったホタテは、貝柱が高く肉厚で柔らかく甘みがあり、タンパク質、カルシウム、ビタミン、鉄分、ミネラルなどが含まれ栄養満点です!栄養ドリンクなどに入っているタウリンも豊富ですので、夏バテにもいいですね。

最近の研究では、旨味成分のグリコーゲンにガンの抑制効果があることが発見されているそうです。栄養たっぷりのホタテを食べて、暑い夏を元気に乗り切りたいですね♪

味の加久の屋特製「焼き帆立」は、陸奥湾産のほたてを秘伝のタレにじっくり漬けて焼きあげております。味付けいらず手間いらずの一品。是非一度お試しくださいませ。(橋本)

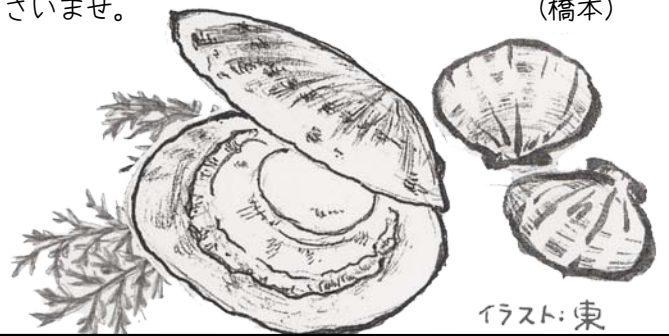


イラスト:東

第46号
平成25年6月

わがくのお便り

《お客様のお声をお聞かせください》

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思っております。

※今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。